

不燃木材事業化へ開発進む

プラセラム

コインカロリーメーター導入

プラセラム（東京都青梅市、桑富栄社長）

は東洋精機製作所のコ

インカロリーメーター

を導入、不燃木材の高機能化へ向けた取り組みを加速させる。

今回の導入によっ

て、ISO5

660-1に

準拠した発熱

性試験を行う

ことが可能と

なるほか、建

築材料を前提

とした開発を

見込み、同装

置にはCO、

CO₂計も具

備。既に周辺

から材料の調達ルートも確保されており、販売ルートにもめどが立っているという。

今後、同社では3月上旬に開催される建築

・建材展への出展、国

土交通省での認定取得

（杉）を予定。併せて

独自の非破壊検査方法

開発を進めており、現

在は確立に向けて順調

に開発が進んでいる段

階にあるという。販売

開始は今年夏から秋を

目標としている。

なお、同社は中小企

業庁の「ものづくり中

小企業製品開発等支援

補助金」2種に採択さ

れ不燃木材の開発を行

っており、同機も助成対象

となつている。「コ

ンカロリーメーターを

使いこなし、基礎デー

タを充実させたらうで

木材含浸処理事業を展

開していきたい」（桑

宗彦会長）。

同社は1980年設

立。含浸に特化した研

究開発型企业で、アル

ミダイキャストなどに

適用する「汎用含浸」

における日本での草分

的存在。

木材分野に関しても

20年以上前から木材含

浸加工技術開発を継続

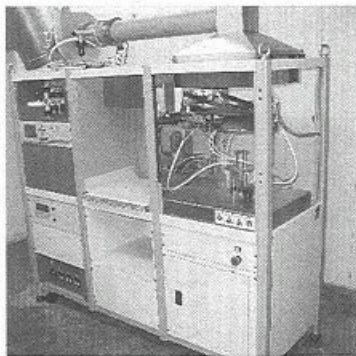
しており、今後は「特

殊含浸」の成長に力を

入れる方針で、不燃木

材分野を主力事業に育

てたい意向だ。



同社が今回導入したコインカロリーメーター